

世界貿易投資動向シリーズ

E U

2022年12月5日

海外調査部

■2021年はプラス成長に回復、ウクライナ情勢により景気後退の懸念

2021年のEUの実質GDP成長率は5.4%、そのうちユーロ圏は5.3%だった。EUおよびユーロ圏の成長率は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅なマイナス成長を記録した前年から大きく回復した。EUのGDP成長率を需要項目別にみると、GDPの51.0%を占める民間最終消費支出は、前年の7.2%減から4.0%増となり、成長率への寄与度は2.1ポイントとなった。GDPの22.0%を占める政府最終消費支出は、前年に唯一プラス成長を維持しており、2021年も3.8%増と引き続き堅調に推移し、成長率への寄与度は0.9ポイントだった。輸出は前年の8.4%減から10.4%増に大きく回復、輸入も前年の7.9%減から8.9%増となった。純輸出の成長率への寄与度は1.0ポイントとなった。

表1 EUの需要項目別実質GDP成長率

	2020年	2021年				2022年
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
EU						
実質GDP成長率	△ 5.9	5.4	0.1	2.0	2.0	0.7
民間最終消費支出	△ 7.2	4.0	△ 1.6	3.6	4.2	0.0
政府最終消費支出	1.0	3.8	△ 0.1	1.9	0.0	0.8
国内総固定資本形成	△ 5.6	3.9	△ 1.4	1.4	△ 0.5	3.3
財貨・サービスの輸出	△ 8.4	10.4	0.8	2.1	2.0	2.6
財貨・サービスの輸入	△ 7.9	8.9	△ 0.5	2.8	2.0	4.4
ユーロ圏						
実質GDP成長率	△ 6.3	5.3	△ 0.1	2.0	2.2	0.5
民間最終消費支出	△ 7.8	3.6	△ 2.1	3.7	4.4	0.0
政府最終消費支出	0.9	3.9	△ 0.2	1.9	0.1	0.7
国内総固定資本形成	△ 6.4	3.9	△ 2.0	1.6	△ 0.6	3.7
財貨・サービスの輸出	△ 9.0	10.5	0.6	2.5	2.3	2.4
財貨・サービスの輸入	△ 8.6	8.2	△ 1.0	3.0	2.1	4.7

(注) ①四半期の伸び率は前期比、季節調整値。
 ②民間最終消費支出には対家計非営利団体 (NPISH) 消費支出も含む。
 ③EUは英国を除く27カ国のデータ。
 [出所] EU統計局 (ユーロスタット)

2022年の経済見通しについて、欧州委員会は2022年7月14日に発表した夏季経済予測にて、EUおよびユーロ圏の実質GDP成長率をそれぞれ2.7%、2.6%と予測。2022年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻は、EU経済にも大きな影響を及ぼしている。EUでは、コロナ禍後の需要回復の影響を受けた供給制約、エネルギーや食品の価格高騰などによって物価上昇が進行。さらに、対ロシア経済制裁やロシア産化石燃料の供給停止により、ガス価格が高騰し、それに連動する電力価格の上昇も深刻となっている。欧州中央銀行 (ECB) は7月、2011年以来初めて主要政策金利を引き上げ、金融引き締め策に転じ、インフレの抑制を図っている。EU経済は新型コロナ危機前の水準を取り戻しつつあった中、EUの2022年第1四半期 (1~3月) の成長率は0.8%と鈍化。EUは、エネルギー危機への対応をすべく、加盟国間での連帯と調和を図っているが、ドイツを始め、各国では景気後退の懸念も出てきており、先行きは不透明な状況となっている。

■ 域内・域外の輸出入額ともに増加

EU統計局 (ユーロスタット、2022年8月16日時点) によると、2021年のEUの貿易は、輸出が前年比17.1%増となる5兆6,086億9,800万ユーロ、輸入が21.5%増の5兆4,781億1,900万ユーロと、輸出入ともに拡大した。EUの域内貿易と域外貿易の構成比は、輸出が域内61.1%、域外38.9%、輸入が域内61.3%、域外38.7%だった。

表2 EUの主要品目別輸出入(域内貿易)

(単位:100万ユーロ、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器類	1,044,817	1,171,451	34.2	12.1	1,022,365	1,151,664	34.3	12.6
雑製品	775,697	952,236	27.8	22.8	733,706	899,903	26.8	22.7
化学工業製品	496,798	606,454	17.7	22.1	496,269	605,460	18.0	22.0
食品、飲料およびたばこ	305,259	336,106	9.8	10.1	302,082	331,694	9.9	9.8
鉱物性燃料・潤滑油など	111,548	197,137	5.8	76.7	117,536	208,427	6.2	77.3
原料別半製品	97,023	132,579	3.9	36.6	101,148	138,061	4.1	36.5
合計(その他含む)	2,855,515	3,427,676	100.0	20.0	2,792,280	3,359,935	100.0	20.3

[注] ①各企業のインボイス報告などに基づく。
 ②輸出がFOB、輸入がCIFのため、輸出入金額が一致しない。
 ③EUは英国を除く27カ国のデータ。
 [出所] EU統計局(ユーロスタット)

EUの2021年の域内貿易は、輸出が前年比20.0%増の3兆4,276億7,600万ユーロ、輸入が20.3%増の3兆3,599億3,500万ユーロと、前年の減少からプラスに転じた。ユーロ圏内貿易では、輸出が20.7%増、輸入が21.1%増となった。

表3 EUの主要品目別輸出入(域外貿易)

(単位:100万ユーロ、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器類	759,940	831,448	38.1	9.4	588,073	671,541	31.7	14.2
雑製品	432,051	496,630	22.8	14.9	444,724	524,953	24.8	18.0
化学工業製品	410,950	456,208	20.9	11.0	233,132	270,740	12.8	16.1
食品、飲料およびたばこ	166,319	175,473	8.0	5.5	113,027	117,049	5.5	3.6
鉱物性燃料・潤滑油など	64,083	104,199	4.8	62.6	221,285	385,787	18.2	74.3
原料別半製品	53,234	70,807	3.2	33.0	79,698	106,040	5.0	33.1
合計(その他含む)	1,932,983	2,181,022	100.0	12.8	1,717,232	2,118,184	100.0	23.3

[注] ①通関ベース。
 ②EUは英国を除く27カ国のデータ。
 [出所] EU統計局(ユーロスタット)

表4 EUの主要国・地域別輸出入

(単位:100万ユーロ、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU域内	2,855,515	3,427,676	61.1	20.0	2,792,280	3,359,935	61.3	20.3
ユーロ圏内	1,806,436	2,180,957	38.9	20.7	1,778,079	2,152,509	39.3	21.1
EU域外	1,932,983	2,181,022	38.9	12.8	1,717,232	2,118,184	38.7	23.3
合計	4,788,497	5,608,698	100.0	17.1	4,509,512	5,478,119	100.0	21.5
EU域外								
EU加盟候補国	92,671	107,555	4.9	16.1	79,537	100,113	4.7	25.9
トルコ	70,142	79,257	3.6	13.0	62,440	77,956	3.7	24.8
ロシア	78,994	89,268	4.1	13.0	94,736	162,459	7.7	71.5
英国	278,300	283,509	13.0	1.9	169,008	147,011	6.9	△13.0
スイス	142,301	156,513	7.2	10.0	108,911	123,726	5.8	13.6
アジア大洋州	483,891	549,697	25.2	13.6	680,021	826,878	39.0	21.6
中国	202,808	223,572	10.3	10.2	385,145	472,799	22.3	22.8
ASEAN	69,389	79,672	3.7	14.8	120,442	136,220	6.4	13.1
マレーシア	10,597	11,763	0.5	11.0	24,686	29,150	1.4	18.1
タイ	11,423	13,311	0.6	16.5	17,939	22,056	1.0	23.0
シンガポール	24,118	27,269	1.3	13.1	16,915	15,609	0.7	△7.7
日本	55,205	62,355	2.9	13.0	54,956	62,275	2.9	13.3
韓国	45,302	51,825	2.4	14.4	44,137	55,425	2.6	25.6
インド	32,154	41,841	1.9	30.1	32,989	46,151	2.2	39.9
オーストラリア	28,963	33,079	1.5	14.2	6,831	9,267	0.4	35.7
北米	387,383	437,779	20.1	13.0	224,088	256,577	12.1	14.5
米国	353,163	399,712	18.3	13.2	203,008	232,431	11.0	14.5
カナダ	33,493	37,253	1.7	11.2	20,444	23,513	1.1	15.0
湾岸協力会議(GCC)諸国	68,013	72,961	3.3	7.3	30,094	40,463	1.9	34.5
アラブ首長国連邦	26,014	29,810	1.4	14.6	8,679	9,439	0.4	8.8
ブラジル	27,687	33,858	1.6	22.3	24,980	32,925	1.6	31.8
南アフリカ共和国	17,579	22,010	1.0	25.2	16,487	22,098	1.0	34.0
合計(その他含む)	1,932,983	2,181,022	100.0	12.8	1,717,232	2,118,184	100.0	23.3

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。
 ②EU貿易統計の金額は、輸出がFOB、輸入がCIF。そのため域内貿易で輸出入金額が一致しない。
 ③EUは英国を除く27カ国のデータ。
 ④EU加盟候補国は、トルコ、セルビア、モンテネグロ、北マケドニア、アルバニア。2022年6月に加盟候補国となったウクライナ、モルドバは除く。
 [出所] EU統計局(ユーロスタット)

EUの2021年の域外貿易は、輸出が前年比12.8%増となる2兆1,810億2,200万ユーロ、輸入が23.3%増の2兆1,181億8,400万ユーロだった。前年の大幅縮小から輸出入ともに拡大した。域内、域外貿易ともに、新型コロナ感染拡大前の2019年の水準を超えた。

2021年の域外貿易を品目別にみると、最大輸出品目の機械・輸送機器類（構成比38.1%）が前年比9.4%増の8,314億4,800万ユーロとなった。前年に大きく落ち込んだ道路走行車両（9.8%）と電気機器（6.4%）がそれぞれ9.0%増、12.4%増となり、全体の伸びに貢献した。続く雑製品（22.8%）は、その他の種々製品（3.6%）が16.2%増、光学・医療用・分析機器など（3.3%）が9.5%増と伸び、14.9%増となった。化学工業製品（20.9%）は、医薬品（10.8%）が前年に引き続き増加し、全体で11.0%増となった。伸び率が最大となった鉱物性燃料・潤滑油など（4.8%）は、エネルギー価格の高騰の影響により、米国向けで2倍、英国向けが92.9%増となるなど大幅に伸び、全体で62.6%増と拡大した。

輸入も輸出と同様に、主要品目の全てで増加した。最大品目の機械・輸送機器類（構成比31.7%）が前年比14.2%増、雑製品（24.8%）が18.0%増となり、輸入全体の伸びを押し上げた。前年は大幅な落ち込みを記録した鉱物性燃料・潤滑油など（18.2%）は、74.3%増と大幅増に転じた。特に石油・石油製品（12.2%）が53.3%増、天然・製造ガス（4.4%）が2.5倍と大きく増加し、コロナ禍後の急速な需要増による世界的な原油価格の高騰が輸入額を押し上げた。

EUの2021年の域外貿易を国別にみると、輸出入ともにほとんどの国で伸びを示した。輸出では、EU域外で最大の相手国である米国向け（構成比18.3%）は、前年の落ち込みから回復し、前年比13.2%増の3,997億1,200万ユーロとなった。同国向け輸出額で最大の医薬品（18.9%）が2.3%増と前年に引き続き増加したほか、続く道路走行車両（9.0%）が13.6%増、一般産業機械・機器（6.4%）が19.4%増となり、それぞれ前年の減少から回復した。米国に次ぐ輸出相手国で、2020年1月31日にEUを離脱した英国（13.0%）は、1.9%増とわずかな伸びにとどまった。前年も増加した中国向け（10.3%）は10.2%増と2021年も拡大。最大品目の道路走行車両（14.9%）が10.5%増となり、次いで電気機器（12.6%）と一般産業機械・機器（8.0%）がそれぞれ9.4%増、5.3%増と堅調に伸びた。また、韓国向け（2.4%）は14.4%増となり、主に特定産業機械（13.5%）が26.9%増、医薬品（7.9%）が42.6%増と拡大したことが寄与した。

輸入では、最大輸入元の中国（構成比22.3%）が前年比22.8%増と前年に引き続き増加し、4,727億9,900万ユーロとなった。最大品目の電気機器（15.9%）が40.7%増と拡大したほか、通信機器（14.4%）が8.7%増、事務用機器（11.6%）が16.7%増、雑製品（7.7%）が38.5%増と主要製品の多くが堅調に伸びた。続く米国（11.0%）は、輸入でも前年の減少から回復し、14.5%増となった。最大品目の医薬品（12.9%）が15.4%増となったほか、石油・石油製品（9.4%）が46.5%増と価格高騰の影響により急増した。英国（6.9%）は、最大品目の機械・輸送機器類（29.4%）が25.6%減、続く化学工業製品（18.1%）が20.0%減と大幅減となり、前年の13.0%減に引き続き、2021年も13.0%減となった。

■対内、対外直接投資ともに投資件数は増加

国連貿易開発会議（UNCTAD）によると、EU加盟国への2021年の対内直接投資（EU加盟国間の

投資も含む)は、前年比34.4%減となる1,375億4,130万ドル(国際収支ベース、ネット、フロー)だった。前年の47.8%減に引き続き縮小した。オランダが810億5,560万ドルの引き揚げ超過となったことが主因だった。ただし、27加盟国中18カ国では対内直接投資額が前年から増加した。2021年末時点のEU加盟国の対内直接投資残高は11兆5,901億370万ドルだった。2021年のEU加盟国へのグリーンフィールド投資件数の合計は5,345件で、ドイツ、スペイン、ポーランドの順で件数が多かった。また同年のEU域内企業を対象とするクロスボーダーM&Aの合計は3,132件だった。前年に比べ、グリーンフィールド投資件数は579件、クロスボーダーM&Aの件数は1,225件増加した。

大型M&A案件としては、2021年6月のノルウェーの広告大手アデビントによる米電子商取引大手イーベイのクラシファイド広告事業部門(本社:オランダ)の買収(92億ドル)などがあった。M&A以外では、10月に英国の石油化学大手イネオスが今後10年間で総額20億ユーロを投じて、ノルウェー、ドイツ、ベルギー、フランス、英国にグリーン水素製造工場を建設すると発表した。

UNCTADによると、EU加盟国の2021年の対外直接投資(EU加盟国間の投資も含む)の合計は、前年から6倍の3,976億3,710万ドル(国際収支ベース、ネット、フロー)だった。ドイツが1,516億9,000万ドルで最大だった。2021年末時点の対外直接投資残高は13兆2,637億5,920万ドルとなった。同年のEU域内企業によるクロスボーダーM&A件数は2,553件で、前年から1,046件増だった。また、EU域内企業によるグリーンフィールド投資件数は5,475件だった。

大型M&A案件としては、2021年1月に完了したフランスの鉄道車両アルストムによるカナダの重工業ボンバルディアの鉄道事業の買収(55億ユーロ)、6月のオランダの食品デリバリー大手ジャスト・イート・テイクアウェイ・ドットコムによる米国の同業クラブハブの買収・合併(73億ドル)、7月のドイツ・フォルクスワーゲンの商用車部門トレイトンによる米国同業ナビスター・インターナショナル(37億ドル)の買収などがあった。

域内の大型案件としては、7月のフランスの眼鏡大手エシロールルックスオティカによるオランダの眼鏡小売大手グランドビジョンの株式76.72%の取得(72億ユーロ)、10月のスペインの通信大手セルネックス・テレコムによるフランスの通信インフラ会社イボリーの買収(52億ユーロ)などがあった。

■対日貿易は輸出入額ともに回復

2021年の対日貿易は、輸出が前年比13.0%増の623億5,500万ユーロ、輸入が13.3%増の622億7,500万ユーロだった。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年は輸出が11.9%減、輸入は12.8%減と落ち込んだものの、輸出入ともに2019年以前の水準に回復した。2019年2月1日に発効した日・EU経済連携協定(EPA)も両者間の貿易の促進に寄与しているとみられる。欧州委員会が2022年10月11日に発表した2021年1~12月の貿易統計から試算されるEPA利用率¹は、EUから日本への輸出で70%、日本からEUへの輸入で65%だった。前年のそれぞれの利用率である63%、60%から増加した。

¹ 特恵関税の適用対象となり得る品目のうち、実際に特恵関税が利用された割合(金額ベース)。英国を除くEU27。

表5 EUの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器類	19,611	20,097	32.2	2.5	34,898	38,579	61.9	10.5
化学工業製品	13,244	17,345	27.8	31.0	7,797	9,032	14.5	15.8
雑製品	8,229	8,612	13.8	4.7	7,185	8,115	13.0	12.9
原料別半製品	3,491	4,180	6.7	19.7	3,647	4,787	7.7	31.3
食料品・動物	3,937	4,100	6.6	4.2	211	293	0.5	38.6
飲料・たばこ	2,643	2,783	4.5	5.3	74	115	0.2	55.8
合計 (その他含む)	55,205	62,355	100.0	13.0	54,956	62,275	100.0	13.3

[注] EUは英国を除く27カ国のデータ。
[出所] EU統計局 (ユーロスタット)

対日輸出を品目別にみると、最大の品目である機械・輸送機器類（構成比32.2%）は、前年比2.5%増となり、前年の20.5%減の縮小から増加に転じた。そのうち、最大品目の乗用車（9.8%）は8.2%増となったほか、自動車用部品（1.7%）は12.5%増、航空機・関連機器（3.5%）は41.2%増だったが、いずれも前年の減少幅を取り戻せなかった。伸び率が最大となった化学工業製品（27.8%）は31.0%増と前年の減少から回復した。医薬品（18.4%）が45.9%増と伸び、特に新型コロナワクチンの輸出が2.5倍に急増したことによる。飲料・たばこ（4.5%）は、5.3%増と前年の2.3%増から増加を維持した。引き続き堅調なたばこ（2.7%）が4.9%増だったほか、前年は大幅に減少した主力のアルコール飲料（1.6%）が7.7%増となったことによる。

対日輸入は、主要品目全てで2ケタの伸びを示した。機械・輸送機器類（構成比61.9%）は、前年比10.5%増となり、前年の17.0%減から増加に転じた。そのうち、乗用車（11.2%）が13.7%減と前年からさらに縮小したものの、自動車部品（5.2%）とバイク（3.1%）がそれぞれ15.9%増、6.0%増と回復した。また、電気機器（5.3%）が18.8%増、事務機器（3.0%）が32.1%増となるなど、機械類も好調だった。化学工業製品（14.5%）は前年に続き増加を維持し、15.8%増となり、化学品（2.9%）が42.3%増、医薬品（2.9%）が19.3%増と拡大したことが主因だった。飲料・たばこ（0.2%）は、飲料の6割以上を占めるウイスキーが57.2%増、1割強を占める日本酒などの発酵酒が41.7%増と、前年の減少から大幅増となり、全体で55.8%増と伸長した。

■日本からEUへの直接投資額は非製造業で大幅増

財務省によると、2021年の日本の対EU直接投資額は、前年の1兆493億円の引き揚げ超過から1兆5,173億円の増加に転じた。化学・医薬での7,652億円の引き揚げ超過が響き、製造業全体は8,259億円の引き揚げ超過となった。一方、非製造業は金融・保険業での大規模な投資を受け、全体で2兆3,432億円だった。2021年の日本のEUからの直接投資受入額は5,529億円の引き揚げ超過となった。製造業、非製造業でそれぞれ2,869億円、2,660億円の引き揚げ超過だった。業種では、化学・医薬で966億円の投資があったものの、輸送機械器具での3,699億円の引き揚げ超過、卸売・小売業での2,814億円の引き揚げ超過が影響した。

(お問い合わせ先)

海外調査部 欧州ロシア CIS 課

ORD@jetro.go.jp